

Event Schedule 2011年3~6月

日付	イベント名	場所	時間
3月21日(月・祝)	きゅーはくミュージアムコンサート ~春うらら~	エントランスホール	①13:00~13:30 ②15:00~15:30
3月26日(土)	第15回九博デー	ミュージアムホール	13:00~15:00
3月26日(土)・27日(日)	日韓交流茶会	エントランスホール	10:00~16:00(予定)
4月2日(土)	博多にわか大会 “桜まんかい 九州国立博物館で 博多にわか”	ミュージアムホール	13:30~14:45
4月9日(土)	きゅーはくミュージアムコンサート	エントランスホール	①13:00~13:30 ②15:00~15:30
5月8日(日)	きゅーはくミュージアムコンサート	ミュージアムホール	①13:00~13:30 ②15:00~15:30
5月28日(土)	第1回ガムランワークショップ ※要申込(対象:小学生以上)無料	エントランスホール	13:30~15:30(予定)
6月12日(日)	第2回ガムランワークショップ ※要申込(対象:小学生以上)無料	ミュージアムホール	13:30~15:30(予定)

特別展開連イベント

日付	イベント名	場所	時間
3月15日(火)~5月22日(日)	巡照朝課	展示室内・エントランスホール	9:30~9:40
3月21日(月・祝)	獅子舞	エントランスホール	11:00~11:20 14:00~14:20
4月16日(土)	中国茶振る舞い(各回定員100名) ※特別展チケットの半券提示が必要	エントランスホール	10:30~11:00 14:30~15:00
4月26日(火)~5月8日(日)	京の老舗 名産品展	エントランスホール	9:30~17:00

※上記イベントは予定であり、予告なく変更する場合があります。詳細はホームページやチラシをご覧ください。

Next Exhibition

次回(特別展)の予告

よみがえる国宝—守り伝える日本の美—

2011年6月28日(火)~8月28日(日)

源頼朝像は鎌倉時代に描かれましたが、21世紀の今もなお、日本のみならず世界の人々を魅了し続けています。この肖像画が今日に伝わったという、まぎれもない事実。その背後には、この絵画を大切に守るために、700年もの間に何度も修理や虫払いが行われたという歴史があります。この肖像画のように、日本には、時を超えて人々の心と技で受け継がれてきた作品が数多く伝わっています。この展覧会では、その美とともに、これを守り伝えた日本人の営みを紹介します。



【国宝】源頼朝像 鎌倉時代 京都・神護寺蔵
〔展示期間〕源頼朝像 6月28日(火)~7月31日(日)

- 開館時間
9:30~17:00(入館は16:30まで)
- 休館日
月曜日(月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日)
※5月2日(月)は開館
- 文化交流展観覧料(特別展は別料金)
一般……………420円(210円) 大学生……………130円(70円)
- 特別展「黄檗-Obaku 京都宇治・萬福寺の名宝と禅の新風」観覧料
一般……………1,300円(1,100円) 高校生・大学生…1,000円(800円)
小学生・中学生……600円(400円)

※()内は前売りおよび20名以上の団体料金。※障がい者とその介護者1名は無料。展示室入り口にて障害者手帳等をご提示ください。※高校生以下・18歳未満及び満70歳以上の方は、文化交流展示室については無料。文化交流展示室入り口にて年齢の分かるもの(生徒手帳・健康保険証・運転免許証等)をご提示ください。※特別展の観覧料で、文化交流展示室もご覧いただけます。※満65歳以上の方は、特別展については()内料金でご入場いただけます。チケット購入の際に年齢の分かるもの(健康保険証・運転免許証等)をご提示ください。
*特別展「黄檗-Obaku 京都宇治・萬福寺の名宝と禅の新風」の開催期間は3/15(火)~5/22(日)です。



〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2
ご案内 NTTハローダイヤル
050-5542-8600
※オペレーターが対応します。通話料が発生します。
<http://www.kyuhaku.jp>



九博-INFO

特別展年間予定

大契丹 蒼天の王朝美(仮称)
会期:2011年9月27日(火)~11月27日(日)
細川家の至宝—珠玉の永青文庫コレクション(仮称)
会期:2012年1月1日(日・祝)~3月4日(日)

Access



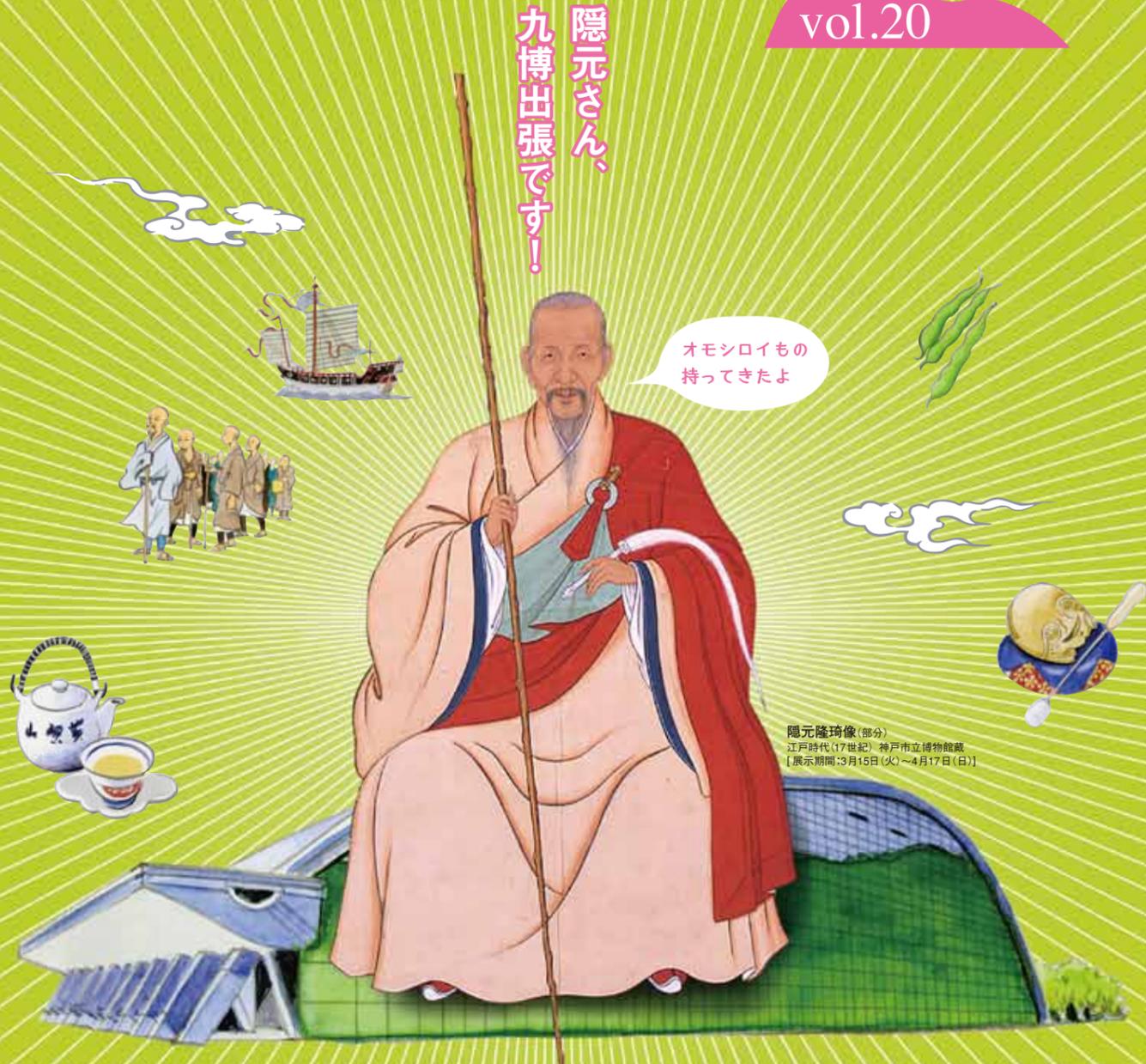
Asiage

VOL.20 平成23年3月15日発行 発行:九州国立博物館 本誌の全部または一部を無断で複製(コピー)することは禁じられています。

Asiage

九州国立博物館 季刊情報誌 アジアージュ
KYUSHU NATIONAL MUSEUM PRESS

vol.20



九州国立博物館開館5周年記念 黄檗宗大本山萬福寺開創350年記念 特別展

特集

黄檗

Obaku

京都宇治・萬福寺の名宝と禅の新風

2011年3月15日(火)~5月22日(日)

初公開
 いんげんりゅうき いぞう
隠元隆琦倚像 范道生作
 寛文3年(1663) 京都・萬福寺蔵

隠元禪師が絶賛した仏師・范道生が造った、隠元禪師72歳の姿。穏やかな表情やたたずまいがリアルに伝わる、高さ155.5cmの大作。



髪やひげには毛が植え付けられている



江戸を仰天させた中国スタイル

全身キンキラ！中国商人の経済力と信心深さのたまもの



両足を踏み下ろして椅子に腰掛けた中国スタイル

媽祖倚像

江戸時代(17世紀) 長崎・興福寺蔵
 中国商人が祈りをささげた、航海安全の神様。水難を予言し、民衆を救ったという中国に実在した女性がモデルとか。

開く。九博に

黄檗

おう ぼく

九博が中国仏教のテーマパークに。萬福寺開創350年を記念し、普段は拝観謝絶の萬福寺の至宝を中心に、黄檗宗独特の仏像や絵画、書など約150点が集結します。

斬新？奇怪？中国カルチャー

わしが開祖の隠元じゃ



隠元隆琦像(部分) 江戸時代(17世紀) 神戸市立博物館蔵
 【展示期間:3月15日(火)~4月17日(日)】

サポーターコラム

近くて遠い萬福寺、中国色が濃くて面白い

小学4年で仏像に魅せられ、中学・高校は仏教系へ。仏友・いとうせいこうさんと一緒に国内外の寺を訪ね歩く「見仏記」は来年で20年になります。萬福寺には小学生のころからよく足を運びました。禪宗には他の宗派とは全く違った特異な雰囲気が出ていてグッときますね。近くて遠い国、中国の仏教文化をモロに伝えています。知ってていそうで知らない世界、そこが萬福寺の魅力です。初公開の「白衣観音坐像」も衣は中国様式が顕著で、仏像好きはもちろんです。あまり仏像を見たことがない人にも興味深いと思います。あとね、隠元さんの図像Tシャツがあったら欲しいです(笑)。

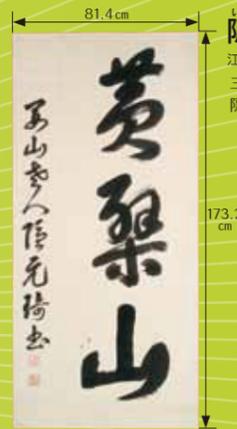


イラストレーターなど
みうらじゅんさん
 京都府出身。武蔵野美術大学在学中の1980年に漫画家デビューし、以後、幅広いジャンルで活躍中。6月5日(日)には福岡市民会館で「みうらじゅんスライドショー」を開く。

重要文化財

隠元隆琦墨蹟 額字原書「黄檗山」

江戸時代(17世紀) 京都・萬福寺蔵 【展示期間:3月15日(火)~4月17日(日)】
 三門に掲げられている山号の原書。隠元禪師の直筆です！



What's OBAKU?

～はじめての黄檗～

臨済宗、曹洞宗と並ぶ日本三大禅宗の一つとされながら、メジャーでない黄檗宗。一番新しい中国伝来の仏教で、江戸期に隠元隆琦禪師によって伝えられました。最大の特徴は、仏像や寺の建築、読経や儀式の進め方まで明時代末の中国仏教の様式がそっくりそのまま移植されていること。当時の人々に衝撃を与えた中国スタイルは、今も新鮮！

隠元禪師63歳。長崎・出島に上陸

1654年、鎖国の世。長崎で生活する華僑たちの熱烈ラブコールに応え、隠元禪師が20人の弟子とともに来日。

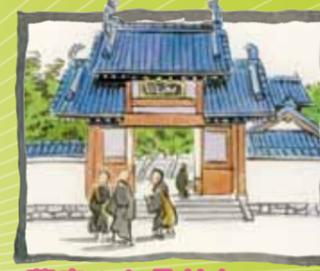


寺のトレードマークが「黄檗」の由来

中国では福建省「黄檗山萬福寺」の住職だった隠元禪師。「黄檗」とは、その寺の周りに生い茂っていた木の種類。

食文化まで変えた隠元禪師の中国土産

インゲン豆をはじめ、スイカ、煎茶…。隠元禪師が中国から伝えたのは、新しい禅の教えだけじゃないのです。



幕府のお墨付きで京都に萬福寺を建立

来日して5年がたち、中国に帰ろうとする隠元禪師を引き止めるため幕府が特別許可を出し、大本山を建立。祖国の寺と同じ「黄檗山萬福寺」と命名、建築もそっくり。

仏の中には秘密のブツが！

釈迦如来坐像 像内納入品

承応2年(1653)ほか 長崎・崇福寺蔵
 長崎に住む中国人が建てた唐寺、崇福寺の本尊・釈迦如来坐像の像内から見つかった銀製の五臓(内臓模型)。金属製の五臓は日本で唯一。



これが仏像の肝臓、心臓、脾臓、肺、腎臓です

初公開 白衣観音坐像

ひやくえんのかんざそう
 范道生作
 寛文2年(1662) 京都・萬福寺蔵
 台座、光背を含めて高さ約5mの巨大な乾漆像。像内には隠元禪師の母親からの手紙が納められているという伝説も。今回、展示前に像の内部を調査予定。



幻の手紙は存在するのか？ エックス線調査の結果をどうご期待



おなかをたいて煩惱の象徴・珠を吐き出させるのだ

飯榔

はんぼう
 文化2年(1805) 京都・萬福寺蔵
 黄檗僧にとってのチャイム。目を開けて寝る魚は不眠不休のシンボルで、怠惰を正す意味が。木魚の原型、語源でもある。



日常の行事や儀式の前に「カーン！」と鳴らして合図

カタチを変えて日本でもおなじみ



日本では七福神の塗やし系メンバー。でっかい袋の中は生活道具なんだって

弥勒菩薩(布袋)坐像

みろくぼさつはいでいざそう
 江戸時代(18世紀) 長崎・聖福寺蔵
 太鼓腹丸出して大笑いする布袋さん。黄檗宗では弥勒菩薩の化身とされています。約千年前の中国に実在した禅僧がモデルとか。

特別展関連イベント

開山忌

4月3日(日) 11:00~11:30
 ミュージウムホール
 定員280人 参加無料 10:30から先着受付
 ▼隠元禪師の命日、4月3日に萬福寺で開催される「祥雲開山忌」。今年は「隠元隆琦倚像」が開堂以来初めて堂を離れ、九博に出張しているため、九博でも開山忌が行われます。中国語読みの読経と鳴り物法具の大唱和は芸術的。

声明「梵唄」

5月4日(水・祝) 11:00~11:30、14:00~14:30
 ミュージウムホール
 定員280人 参加無料 要事前申し込み
 ▼黄檗式の読経を披露します。太鼓など数種の鳴り物法具の響きが、独特の世界観を演出。

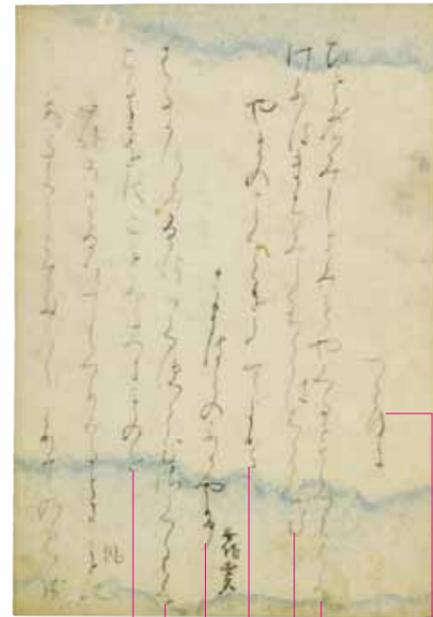
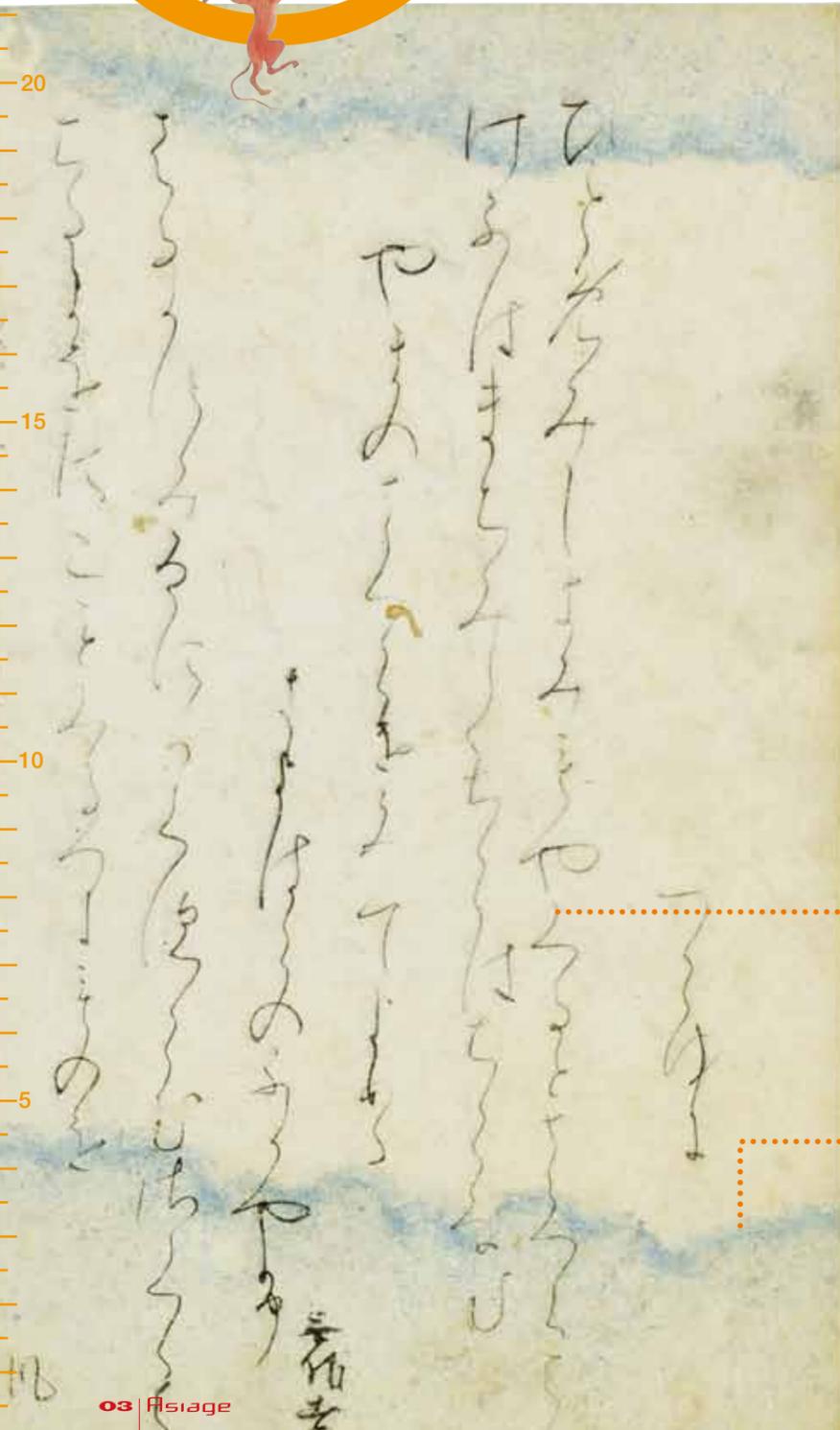
茶席

○光風流 3月26日(土) 茶室「宝満亭」
 ○知足庵流 4月3日(日) 1F 研修室
 ○小笠原流 4月10日(日) 1F 研修室
 ○日本礼道小笠原流 4月17日(日) 茶室「宝満亭」
 ○東阿部流 4月24日(日) 茶室「宝満亭」
 ○売茶流 5月4日(水・祝) 茶室「宝満亭」
 各日 10:30~14:30 参加無料
 各開催日に先着で受付
 ※特別展チケットの半券提示が必要
 ▼隠元禪師の時代に中国から伝来したといわれる、煎茶文化を体験。
 特別展関連イベントの問い合わせ
 西日本新聞イベントサービス内「黄檗」係
 ☎092-711-5491(平日 10:00~17:00)

古今和歌集
 (巻第二、第四断簡 / (亀山切十七葉))
 平安時代 12世紀
 九州国立博物館蔵
 展示期間：5月10日(火)～6月19日(日)

古今和歌集に収められた春の歌が、“雲紙”という美しい紙に散らし書きされています。京都の亀山藩松平家に伝わる作品であることから“亀山切”と呼ばれ、原寸大の部分には「古今和歌集」選者の一人、紀貫之(872～945年)が親しい人との再会への思いを桜の花に託して詠んだ歌などが書かれています。

これが
**原寸
 だい!**



つらゆき
 ひとめしきみもやくるとさくらばな けふはまぢみてちらばちなむ
 (現代語訳)
 ひと目だけ見て帰ったあの方が、ひよっとしてまた見にいらっしやるかと、お待ちしているこの桜花よ。今日はわたくしが見て待っていて、そのうえで、散るなら散ってほしいのだ。
 やまのさくらをみてよめる
 (現代語訳)
 山の桜を見て詠んだ
 さよはらのふかやぶ
 はるかすみなにかくすらむさくらばな ちるまをだにもみるべきものを
 (現代語訳)
 春霞は、なぜ隠すのだろう。桜の花は、せめて散っている間だけでも見なくてはと思うのに。

Point 1

文字からも伝わる繊細さ
 春を詠んだ歌にふさわしい、繊細かつ伸び伸びとしたひらがなは、雲紙の美しさとも見事にマッチ。紀貫之が書いたものと伝えられています。

Point 2

風流な青い雲の模様
 藍色や紫色の繊維を雲の形にすき込んだり、紙に染料を染み込ませたりして模様を付けた雲紙を使用。平安時代の貴族が愛した、雅やかなデザイン。

トピック展示 アジア友好日本古美術帰国展

「日本とタイーふたつの国の巧と美」

期間 / 2011年4月12日(火)～6月5日(日) 場所 / 関連展示第9・10・11室ほか

600年に及ぶ長い交流の歴史をもつ日本とタイ。江戸初期に遠い南の国から輸入された品々の中には、現在のタイ王国を指す「シャム」 「暹羅」の名を付けたものがあり、大変珍重されました。それは日本人にとってタイからの輸入品が単なる舶来品ではなく、格別の価値を持っていたからです。タイのアユタヤには日本人町が作られ、山田長政ほかタイ国王に仕えたと伝えられる日本人もいました。

「国のはじまり」「仏教」「出会い」「伝統」という視点から、両国の造形と美意識を探ります。先史時代の稲作文化と祈りの形、仏教美術、異文化交流によって作り出された美術品の数々。ふたつの国の長い歴史と出会いの中で生まれた造形美をご覧ください。

本展は、両国の文化財が一堂に会する初の展覧会です。



実文 火焰宝珠形舍利塔
 鎌倉時代 13～14世紀
 東京国立博物館蔵



国宝 袈裟褌文銅鐺
 (神戸市灘区桜ヶ丘町)
 弥生時代 1世紀
 神戸市蔵



せきぞうにやらいざぞう
石造如来坐像
 ドヴァーラヴァティー時代
 8～9世紀
 バンコク国立博物館蔵



はくえいししもんぎやくてんぼこ
箔絵獅子文経典箱
 アユタヤ時代 17世紀
 バンコク国立博物館蔵

タイの人々も鑑賞しました

「日本とタイーふたつの国の巧と美」は2011年1月15日(土)から3月13日(日)までタイ王国バンコク国立博物館で開催しました。本展は九州国立博物館が海外に向けて発信する第1回目の展覧会です。



国宝・琉球国王尚家関係資料 修理完成特別公開

両先嶋御検使日記
 琉球・第二尚氏時代 19世紀 那覇市蔵
 期間 / 4月12日(火)～5月22日(日)
 場所 / 基本展示室 第Vテーマ
 尚家が琉球を統治した400年もの歳月を物語る、貴重な資料群。2010年度に九州国立博物館の技術者が修理して、虫食いだらけだった資料が美しくよみがえりました。



トピック展示スケジュール

トピック展示名称	開催期間	開催場所
田中丸コレクションの肥前磁器	開催中 ～3月27日(日)	関連展示第9室
白磁を飾る青ー朝鮮時代の青花	開催中 ～3月21日(月・祝)	関連展示第10室
日本の建築をめくって	開催中 ～4月3日(日)	関連展示第11室
日本とタイーふたつの国の巧と美	4月12日(火)～6月5日(日)	関連展示第9・10・11室ほか
茶の湯を楽しむ IV	9月14日(水)～10月23日(日)	関連展示第9室
館蔵水墨画名品展	9月28日(水)～11月6日(日)	関連展示第11室
発掘された日本列島 2011 地域展	10月12日(水)～12月18日(日)	関連展示第1室
袋中上人と琉球ー檀王法林寺(仮称)	11月1日(火)～12月11日(日)	関連展示第9・10室
九州大学百年の宝物	11月15日(火)～12月18日(日)	関連展示第11室

学芸員に何でも聞いてちょう

火曜日は「ミュージアムトーク」の日

展示品にまつわるウラ話って、実は一番知りたいことかも？ 文化交流展示室では、火曜日の15:00から、約30分間の展示解説「ミュージアムトーク」を開催中。解説ボードだけでは分からない展示品のあれこれを、専門の学芸員が楽しく、分かりやすくおしゃべりします。

「一つ一つの作品に対して、私たちがどんな思いを込めて展示しているのかなど九博の思いを直接伝えられる貴重な機会」と赤司展示課長(写真)。トーク終了後は質問攻めになることも。いままで疑問に思っていた事が聞けるチャンスです。一度参加してみませんか。

トークテーマはホームページで随時公開中。



ミュージアムトーク

- 実施日 火曜日
 - 時間 15:00～(30分間程度)
 - 場所 4F 文化交流展示室内(担当学芸員によって変わる)
 - 聴講料 無料(ただし文化交流展の観覧料は必要)
- ※4階文化交流展示室入り口のコンピュータ画面でも情報発信中
※都合により内容変更・中止となる場合もあります。あらかじめご了承ください

文化交流展示室の

“海を渡った宝物”ランキング ※アジアージュ調べ

「アジアと日本の文化交流の歴史」を大きな柱とする、文化交流展示室の展示物。今回は海外からはるばる日本にやって来た、歴史ロマンあふれる宝物をランキング形式でご紹介します。



1 九博ザ・ベスト3

億万長者のヘンクリ!? 中国のお金がザクザク

15世紀後半 東京国立博物館蔵

ココで見られる

文化交流展示室 基本展示室IVテーマ

大正時代に発見された銅銭で、大半が中国のお金。日本では小判などが誕生するまで中国のお金が使われていました。総額1000万円とも10億円ともいわれています。



2 ベトナムに渡った日本人のドキュメント

朱印船交趾渡航図巻

江戸時代 18世紀 九州国立博物館蔵

ココで見られる

文化交流展示室 基本展示室Vテーマ

展示期間:5月24日(火)～7月3日(日)

交趾(ベトナム中部)のホイアンへ渡った朱印船や日本人町の様子を生き生きと描いた絵巻。17世紀初頭、日本人は東南アジアと盛んに貿易を行っていました。



きゅーはくの絵本でも紹介
海のおこうのずっとおこう
フレーベル館刊 1,050円



3 命懸けで中国から運んだ プライスレスなお宝

遣唐使が持ち帰った宝(再現文化財)

7～9世紀 九州国立博物館蔵

ココで見られる

文化交流展示室 関連展示第8室

遣唐使は日本から砂金や絹を持っていき、中国で製品を購入していたとか。仏教の経典や高級絹織物、香木などは、彼らが命懸けで日本に持ち帰った物なのです。



きゅーはくの絵本でも紹介
もろこしのたからもの
フレーベル館刊 1,050円



Goods

あの人に贈りたい九博土産

手軽に渡せるサイズと価格で、定番人気の商品。特に九博の外観をデザインしたグッズは売れ筋。機能性や味など見た目以外にもこだわっています。



小さいファイルは
領収書整理にも

しっかりママに

ポストカードセット
(8枚入り、ミニクリアファイル付き) 740円

しっかり留まる実力派
渋〜い柄の高級感が◎



この春できた友達に

ストロベリーチョコレートクランチ 400円

インテリな彼に

ブッククリップ 250円

Volunteer report

遊歩道や茶室をぐるり、新ガイドツアー

館内案内ボランティア



茶室や庭のあちこちに、ゲストをもてなす細やかな工夫が

あじっば前のボランティアカウンターに常駐する「館内案内ボランティア」が、2011年1月から「茶室・博物館施設見学ガイドツアー」を始めました。九博の外周を一回りして、九博こだわりの設備や遊歩道の草木にも注目。思わず「へえ〜」とうなってしまう小ネタが満載です。10年秋に利用開始したばかりの茶室の内部も係員が案内してくれるので、日本の心・茶道文化にも触れるチャンス。

茶室・博物館施設見学ガイドツアー

実施日時/日曜日 14:00～(約40分)

受付/当日12:00～14:00にボランティアカウンターへ

受付人数/先着10人

※バックヤードツアーも同時開催しているので、受付の際に「茶室の見学ツアー」とお伝えください

問い合わせ 九州国立博物館 交流課
☎092-929-3289



あじぎやらが 干支の動物園に!

福岡市の郷土玩具コレクター秋吉元さん寄贈の郷土人形コレクションより、福岡県無形文化財保持者の博多人形師・中村衍涯さんが昭和60年代に制作した干支人形を、あじっば奥の「あじぎやら」に展示中。十二支がそろって展示されるのは貴重。

今にも動き出しそうな動物たちの躍動感。は圧巻で、思わず見とれちゃう!(7月末まで展示予定)

テレビで見た北限の猿がモデルとか



大黒さまのひざにちょこんとおすわり



一瞬の表情を捉えたキュンとするかわいさ♡

開始5年目で約4700点の調査終了!

約1万3000点もある郷土人形コレクションは、資料整理部のボランティアが一点一点、サイズや制作された時代と場所などを地道に調査。

衍涯さんの情熱が生んだ干支人形

リアルで生き生きとした、力のある作品ばかり。衍涯さんはこの置物を作るために、十二支の動物をほとんど飼って観察したそうです。

戦前、平和を祈った「博多平和の人形」発見!

膨大なコレクションを調査中、意外なお宝が発見されることも。



調査を終えた作品から順次「あじぎやら」に展示。次は戦国武将の人形など歴史モノの展示を計画中。